

沖縄

有力IT企業の戦略

コンピュータ沖縄

コンピュータ沖縄(名護 宏雄社長)は、仮想化、クラウド、モバイルを切り口にしたビジネスモデルを確立し、民間需要の開拓を図る。



名護 社長

仮想化ソフトは、ウィエムウェアをはじめソフトリッ

おり、ほとんどが官公庁で力する。おの横展開を強化している

の実績。名護社長は「民間 同社サーバーの入れ替えに合わせ、スマートフォン

への横展開を強化している。おの横展開を強化している。おの横展開を強化している。

11年3月期売上高は前年 同期比20%減の10億円超の X、Webツールをフル活用し、見直し、注文、納品、集金などの業務を徹底的に効率化。休眠客の掘り

仮想化とモバイル、民間需要を開拓

て提案できるのが特徴。

サーバーを4月から仮想化 しており、効果が出ている

の範囲内」と分析する。

4月以降、物品販売は全 面的にWeb事業部へ移管

沖縄県西原町の全サーバ ーを仮想化するなど、仮想 化の実績は約15社あり「県 内ではトップクラス」(名 護社長)。しかし、そのう

顧客への導入を後押しした 顧客への導入を後押しした

幅な成長は予想にくい。 伸ばすのは民需」(名護社 長)と、県内企業向けにパ

た技術者を同行させ、提案 力の向上を狙う。

ち民間は30%にとどまっ てる。スマートフォンと関連した 化、スマートフォン、クラ

スマートフォンと関連した 化、スマートフォン、クラ

スマートフォン、クラ

スマートフォン、クラ